

第8回再処理・リサイクル部会セミナーの実施結果について

1. テーマ:福島事故を受けた今後の規制概要及び六ヶ所再処理工場竣工への現状と課題
2. 日時:H24年8月24日(金)9:30~17:30
3. 場所:東京工業大学 蔵前会館
4. プログラム:添付-1参照
5. 参加者数:149名(開催風景については、添付-2参照)
6. ポスター出展数:33件(一般 24件、学生 9件)
・最優秀ポスター賞 1件、優秀ポスター賞 1件、最優秀ポスター賞 1件を選出・・・添付-3参照
7. 開催結果

参加者約150名と、前回よりも減ったものの、過去のセミナーと同等以上の参加者数となり、まずまずの盛況であった。

基調講演は内閣官房 原子力安全規制組織等改革準備室の櫻田道夫氏より、「原子力規制委員会設置法について」をご講演いただいた。福島事故の反省点とこれからの原子力規制のあり方について、経緯をおりませながらの内容の濃い講演であった。会場からは型式認定などについて質問があった。

特別講演は日本原子力技術協会 石川迪夫氏より、「安全思想の変遷」について講話いただいた。機械(自動)制御が導入された理由から始まり、核兵器開発を行っていない日本には臨界事故のDNAがなく、それがJCO事故につながったことなど、発生した事故に対する安全対策の進歩が安全思想の変遷であることを、ご自身の体験をおりませながらお話しいただいた。

AREVA ガラス固化部門の Senior Expert であるアントニー・プロドム氏からは、アレバ社のガラス固化技術の歴史と知見について講演いただいた。プロジェクトを管理し、運転・メンテナンスを行なうAREVAとR&Dを行なうCEAの強く長期にわたる連携など、ガラス固化技術の確立の歴史が様々な面から語られた。

テーマⅡガラス固化技術のセッションでは、最初に日本原燃(株)福井寿樹氏から「アクティブ試験の状況」について講演いただいた。KMOC の試験を踏まえて行なった事前確認試験では、技術的な問題がクリアされつつあることが示された。次の日本原燃(株)守屋登康氏からは、「改良炉開発の状況」として、次世代の炉の開発目標、各要素の改良や開発について報告があった。セッション最後は(独)日本原子力研究開発機構 塩月正雄氏より「JAEA におけるガラス固化技術開発」と題し、これまでのJAEAによる六ヶ所への技術支援や、福島事故を受けての支援や技術研究などの報告が行なわれた。

ポスターセッションは、前回よりも件数は少なくなったものの、福島事故の環境復旧など新しいテーマの発表も数多く行なわれ、活発な質疑が行なわれた。また、改良炉の模型などの展示も行なわれ、参加者の好評を得ていた。

テーマⅢでは、日本原燃(株)青柳春樹氏より、「震災を踏まえた日本原燃(株)六ヶ所再処理施設の安全性に関する総合的評価等について」と題したご講演をいただいた。いわ

ゆるストレステストに関する内容であったが、事象選定や評価の流れ、AM対策など、安全対策が強化されたことが示された一方、「安全への取り組みに終わりはない」という本セミナーの大きなテーマで締めくくられた。

8. 添付資料

添付－1: セミナープログラム

添付－2: 開催風景

添付－3: セミナーポスター賞

以上

第 8 回 再処理・リサイクル部会セミナープログラム

テーマ 福島事故を受けた今後の規制概要及び六ヶ所再処理工場竣工への現状と課題

主催 日本原子力学会 再処理・リサイクル部会

開催趣旨 東北地方太平洋沖地震は東北地方に大きな震災をもたらし、福島第一原子力発電所の事故を引き起こした。この事故の放射性物質の放出による広域の汚染は幸いにも健康被害を引き起こさないと見られているが、復興の遅れの一因になっていること、経済活動への影響は深刻であり、原子力に携わるものは真摯に反省し、安全の追求を続けなくてはならない。

本セミナーでは、福島第一原子力発電所の事故を受けた原子力規制の改変、ストレステスト、そして六ヶ所再処理工場のガラス固化試験や技術開発の状況などをそれぞれの専門家から報告するとともに、幅広く関係者間で議論を行い今後の原子燃料サイクルの健全な発展に寄与するものとした。

日時 平成 24 年 8 月 24 日（金） 9：30～17：30

場所 東京工業大学 蔵前工業会館

【プログラム】

- | | | |
|-------------------|--|-------------|
| 1. 開会挨拶 | 井上 正 部会長 | 09:30～09:40 |
| 2. 基調講演 | | |
| | 「原子力規制委員会設置法について」 | 09:40～10:20 |
| | 内閣官房 原子力安全規制組織等改革準備室 櫻田 道夫氏 | |
| 3. テーマ I | | |
| | French Vitrification Program: Historical perspectives and lessons learnt | |
| | アレバ Anthony PROD' HOMME 氏 | 10:20～11:20 |
| 4. 特別講演 | | |
| | 「安全思想の変遷」 | 11:20～12:20 |
| | 日本原子力技術協会 最高顧問 石川 迪夫氏 | |
| | 昼 食 | 12:20～13:10 |
| 5. テーマ II：ガラス固化技術 | | |
| | ①「アクティブ試験の状況」 | 13:10～13:50 |
| | 日本原燃(株) 福井 寿樹氏 | |
| | ②「改良炉開発の状況」 | 13:50～14:30 |
| | 日本原燃(株) 守屋 登康氏 | |
| | ③「JAEA におけるガラス固化技術開発」 | 14:30～15:10 |
| | (独) 日本原子力研究開発機構 塩月 正雄氏 | |

6. ポスターセッション 15:10~16:10
7. テーマⅢ
①「震災を踏まえた日本原燃(株)六ヶ所再処理施設の安全性に関する
総合的評価等について」 16:10~17:10
日本原燃(株) 青柳 春樹氏
8. ポスター賞表彰 17:10~17:20
9. 閉会挨拶 藤田 玲子 副会長 17:20~17:30

第8回 再処理・リサイクル部会セミナーの状況

1. 開催挨拶 井上 正部会長



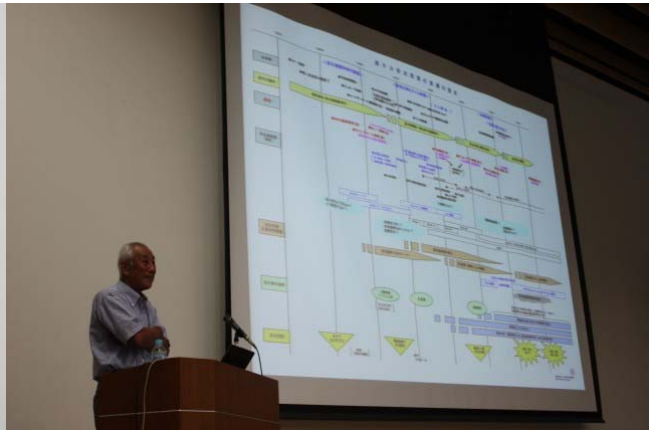
2. 基調講演 内閣官房 櫻田 道夫氏



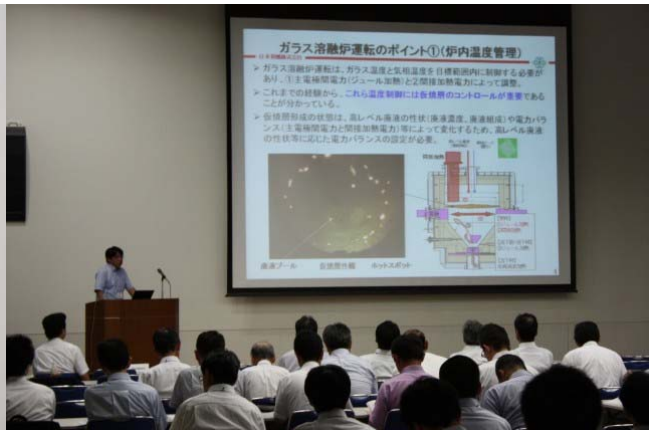
3. テーマ I AREVA Anthony PROD'HOMME 氏



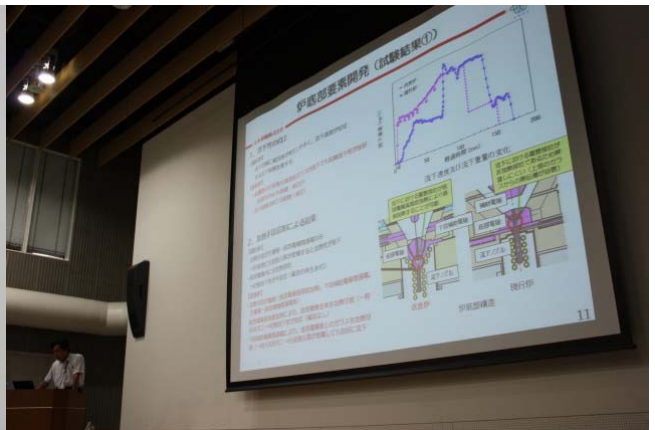
4. 特別講演 日本原子力技術協会 石川 迪夫氏



5. テーマⅡ① 日本原燃(株) 福井 寿樹氏



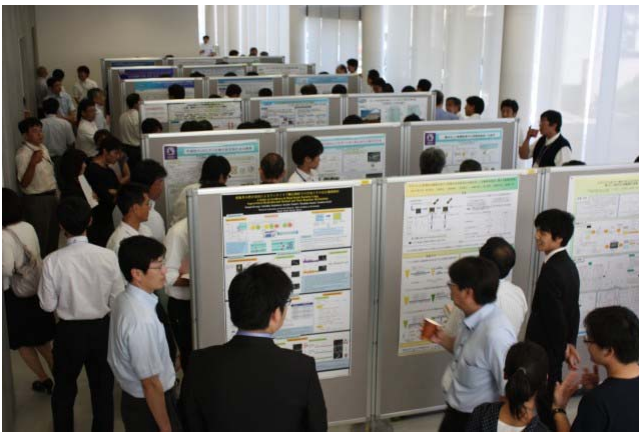
テーマⅡ② 日本原燃(株) 守屋 登康氏



テーマⅡ③ (独)日本原子力研究開発機構 塩月 正雄氏



6. ポスターセッション



7. テーマⅢ 日本原燃(株) 青柳 春樹氏



8. ポスター賞表彰

学生の部 最優秀賞
(代表) 東北大学 五十嵐 勇樹氏

一般の部 優秀賞
(代表) 東北大学 三村 均氏



一般の部 最優秀賞
(代表) 東京大学 牧野 久識氏



9. 閉会挨拶



懇親会のようす



第8回 再処理・リサイクル部会セミナー（2012年8月24日）ポスター賞

【一般】

賞	発行番号	ポスター名	所属	氏名
最優秀賞	第 RP1201 号	逐次抽出法による土壌への ¹³⁷ Cs 取り込みメカニズムの評価	東京大学	牧野 久識、斉藤 拓巳、田中 知
優秀賞	第 RP1202 号	高機能性キセロゲルによる原子力レアメタルの選択的分離法の開発	東北大学	河村 卓哉、Rana Syed Masud、 須佐 俊介、三村 均、新堀 雄一
			日本原子力研究開発機構	大西 貴士、大林 弘、小山 真一
			(株)スリー・アール	石橋 寿永、菅井 弘

【学生】

賞	発行番号	ポスター名	所属	氏名
最優秀賞	第 RP1203 号	不溶性フェロシアン化物の安定固化法の開発	東北大学	五十嵐 勇樹、Rana Syed Masud、 三村 均
			ユニオン昭和(株)	石崎 英司、松倉 実

敬称略